

とするほうがよりよい善防園になると考えているとのことでした。

また、利用者にとっては現在の職員との関係が壊れることが心配で、今後も社協にしてみらうという継続性の担保についての質問に対し、執行者からは、特例を適用し、社協を指定しており、今後3年間社協が創意工夫、切磋琢磨し、利用者さらにお願ひすれば問題ないという信頼を勝ち取ることができれば、3年後も改めて特例を適用することも可能で、それが一番望ましいと考えているとの答弁でした。

さらに、絶えず福祉施策が変わってきている状況で、市が完全に切り離して社協に任せることは無責任で、赤字が出た場合の対応についての質問に対し、市長からは、社協は善防園の運営実態を一番よく知っており、予想外の問題が発生すれば協議して別の予算を付けざるを得ない面があるかもしれないが、枠内に収まり、むしろ効率化でき

ると見ており、社協に任せて活動状況、実績をモニタリングしながら経営を監視していきたいとの答弁でした。委員からは、経営努力を精一杯しても赤字が出る部分については、市としてフォロワー体制をとってもらいたいと要望されています。



善 防 園

(主な審議の状況)  
校務用コンピュータ購入契約の締結

緊急不況対策の一環で国の補助事業として、教師1人に1台のパソコン導入をしようとするもの。

委員からは、導入するパソコン全てにUSBメモリーを添付することについて、事務の必須機器としてコンピュータを導入する時代になり、公務員の使用するパソコンの情報漏えいが危懼され、USBメモリーが増えることで情報の外部への流出に加え、コンピューターウイルスの感染の危懼を増大させることから、必要性について確認されると、担当者からは教育現場では教師個人でパソコンを購入して教育備品の代用として使用していること、非常に多い仕事を消化するためには仕事を持ち帰らざるを得ない状況であるため、USBメモリーの必要性が強く訴えられました。市長からはパソコンが各学校に導入されるまでに、校長会や教育委員会でよく協議し、個人データに

関することやUSBメモリーに関して危機管理上の規程を作成し、配付を受ける教師においては規程を十分に認識させてから配付されるよう、教育長に要望していきたいという意向が示されました。

また、このパソコン導入事業の入札残の取り扱いについて、補助金は国庫へ返す必要はなく、入札残が生じた場合は耐震補強工事に充当するというものでした。



一般会計補正予算(第4号)

住民投票制度セミナーは、昨年同様開催されており、本年度も昨年同様の講師に再度講演していただく予定で、委員からは住民投票制度に精進しておられる方には違った考えの方もあら

れると思うので、同じ方ばかりの講演会を開催するのではなく、公平な立場で物事を考えるには、複数の方の講演を聞くことも大事ではないかとの意見が述べられました。

小学校において設計監理委託料180万円の減額は賀茂と西在田小学校の耐震補強工事に係る入札残で、今後の耐震補強計画については、来年度以降1S値0・3未満の賀茂小学校体育館、泉中学校武道場を初めとして8校の対象工事を平成23年度までに完了させていくという答弁で、年度別契約の財政協議について確認をすると、財政局からは全体計画についての資料はもらっているが、確定しているものではなく、できる範囲で進めていくとしか言えないということでした。今後は教育委員会が単独で走ることなく、関係部局の調整を十分に行った上で進めていただくよう申し入れられました。

総務委員会

(議決結果)

8議案について、いずれも全会一致で可決。